

# 2024年：潜水調査結果（男鹿川・三依地区）

## 調査日

2024年7月3日

2024年7月4日  
栃木県水産試験場

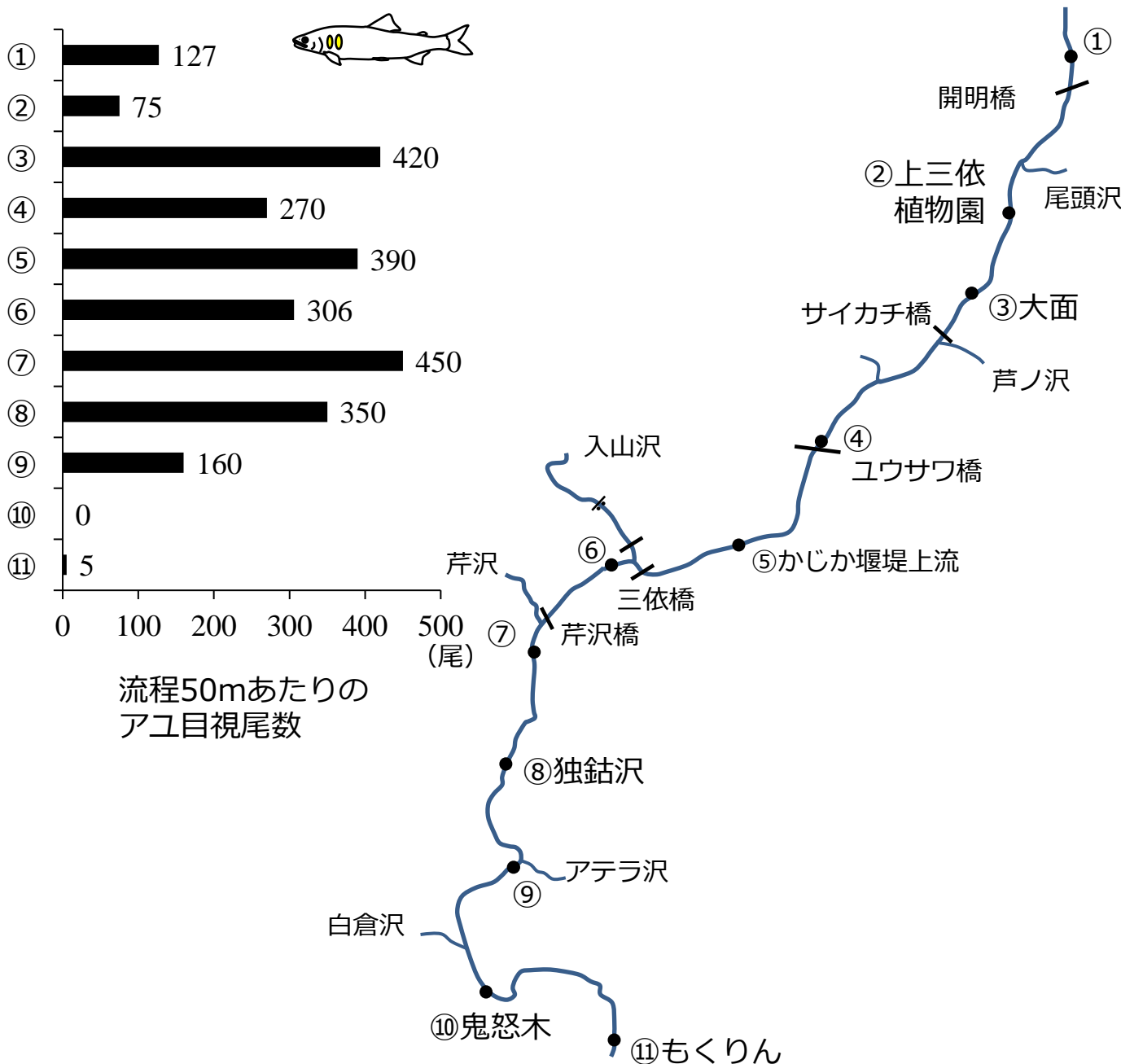
## 調査方法

- 50mの調査区を設定して、アユ・ヤマメ・イワナの尾数を潜水目視\*1)で計数しました。

\*1)発見率を  $\left[ \begin{array}{l} \text{アユ}100\% \\ \text{ヤマメ}83\% \\ \text{イワナ}30\% \end{array} \right]$  と仮定

- この結果から、生息数を推定しました。

## 調査結果



流程50mあたりの各魚種の目視尾数

地点	アユ	ヤマメ		イワナ
		15cm以下	15cm超	15cm超
①	127	14	7	4
②	75	15	12	2
③	420	13	21	2
④	270	23	12	3
⑤	390	17	12	0
⑥	306	13	14	4
⑦	450	9	1	0
⑧	350	6	1	0
⑨	160	3	7	0
⑩	0	15	6	1
⑪	5	12	3	0



各魚種の推定生息数

魚種	推定生息数
アユ	<b>41,300±8,600</b>
ヤマメ	15cm以下 : 2,700±300
	15cm超 : 1,900±400
イワナ	15cm超 : 900±300

- ・アユは、漁場の上流に多い傾向が見られました。放流場所から全体的に上流へと移動していると考えられます。
- ・アユの放流量は約4万尾ですので、生残率は非常に高かったと考えられます。
- ・15cm以下のヤマメは昨年より少なめでしたが、ヤマメ、イワナともに15cm超の数は昨年を上回りました。  
(前年同期比)

ヤマメ15cm以下 : 61%

ヤマメ15cm超 : 136%

イワナ15cm超 : 562%

栃木県水産試験場  
担当：高木・竹中  
0287-98-2888